

1. 科目名 (単位数)	音楽表現 (2 単位)	3. 科目番号	JCCM1114
2. 授業担当教員	原 久美子		
4. 授業形態	講義、及び演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本授業では、「こどもと音楽」の学習内容を踏まえ、乳幼児の音楽表現に関する理解を深めるとともに、それを援助するための技能を高める。具体的には、次の事項を身に付けることを目標とする。</p> <p>① 乳幼児が自ら音や音楽に興味・関心を抱き、主体的に関われるような環境構成に関する知識</p> <p>② 乳幼児が生活や遊びの中で様々な表現を楽しむための「適切な援助」への理解</p> <p>③ 乳幼児の自由な表現を受容することのできる豊かな感性を育む</p> <p>④ 乳幼児の音楽表現を支えるための基礎的な技能</p> <p>乳幼児が音楽に親しむようになるためには、保育者自らが音楽を愛好する姿に触れる経験も重要なため、特にそれを支える音楽表現の基礎的な知識や技能 (楽典・ピアノ・歌唱等) の獲得を重視する。</p>		
8. 学習目標	<p>1. 乳幼児が生活や遊びの中で様々な表現を楽しむための「適切な援助」について理解する。</p> <p>2. 音楽の基礎理論 (楽典) を理解し、楽譜の読み書きができるようになる。</p> <p>3. ピアノ伴奏による弾き歌いの基礎的技術を習得する。</p> <p>4. 歌唱の基礎的技術を習得する。</p>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>1. 毎回楽典の練習問題とピアノの練習課題等を出します。</p> <p>2. ピアノ演奏および弾き歌いの発表を実施します。</p> <p>3. 音楽理論 (楽典) に関するテストを実施します。</p> <p>4. 環境構成や「適切な援助」に関するレポートを課します。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】岡村 弘・二宮紀子・杉原由利子編著『これだけは歌って弾こう 子どもの歌 厳選 50 曲』共同音楽出版者</p> <p>【参考書】・小林美実・井戸秀和『いろんな伴奏で弾ける選曲こどものうた 100』チャイルド本社。 ・小林美実監修『こどものうた 200』チャイルド本社。 ・小林美実監修『続こどものうた 200』チャイルド本社。</p> <p>【教材】※各自で必ず購入しておくこと。 ・ヘッドフォン ・6.3mmステレオジャック (先端が 3.5mmジャックの場合、ステレオ変換ジャックが必要)</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 乳幼児が生活や遊びの中で様々な表現を楽しむための「適切な援助」について理解できたか。</p> <p>2. 音楽の基礎理論 (楽典) を理解し、楽譜の読み書きができるか。</p> <p>3. ピアノ伴奏による弾き歌いの基礎的技術を習得したか。</p> <p>4. 歌唱の基礎的技術を習得したか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>実技 60% 楽典 20% 授業への取り組み姿勢 20%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>ピアノ演奏や歌唱のような実技は、一夜漬けで習得できるようなものではなく毎日地道に練習を積み重ねていくことが重要です。必ず、短時間でも構わないので毎日ピアノに触れるよう心がけて下さい。将来、教育・保育実習や採用試験などでピアノ演奏や弾き歌いの技術が必ず必要になりますが、人前でその実力が発揮できなければ意味がありません。どんなに緊張しても心を平静に保って普段通りの演奏できるようにするのは、演奏技術を身に付ける以上に困難なことです。地道な練習と経験以外に、近道はないと思って下さい。</p>		
13. オフィスアワー	初回授業のオリエンテーションにおいて通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 楽典①：コードネーム① (メジャー、マイナー)	事前学習	1 年次春期に学んだ音楽理論 (楽典) の復習をしておくこと。
		事後学習	課題曲の練習に取り組むこと。また、楽典①の復習をし、練習問題に取り組むこと。
第 2 回	ピアノ弾き歌いレッスン① 楽典②：コードネーム (セブンス、ディミニッシュ等)	事前学習	課題曲を弾けるようにしておくこと。
		事後学習	課題曲の練習に取り組むこと。また、楽典②の復習をし、練習問題に取り組むこと。
第 3 回	ピアノ弾き歌いレッスン② 楽典③：コードネーム (転回形)	事前学習	課題曲を弾けるようにしておくこと。
		事後学習	課題曲の練習に取り組むこと。また、楽典③の復習をし、練習問題に取り組むこと。
第 4 回	ピアノ弾き歌いレッスン③ 楽典④：コードネーム (音の省略)	事前学習	課題曲を弾けるようにしておくこと。
		事後学習	課題曲の練習に取り組むこと。また、楽典④の復習をし、練習問題に取り組むこと。
第 5 回	ピアノ弾き歌いレッスン④ コードネームに関するテスト	事前学習	課題曲を弾けるようにしておくこと。
		事後学習	課題曲の練習に取り組むこと。また、テストの結果を受けて、理解できていない箇所を復習しておくこと。
第 6 回	ピアノ弾き歌いレッスン⑤	事前学習	課題曲を弾けるようにしておくこと。

	楽典⑤：主要三和音と属七の和音	事後学習	課題曲の練習に取り組むこと。また、楽典⑤の復習をし、練習問題に取り組むこと。
第7回	ピアノ弾き歌いレッスン⑥ 楽典⑥：カデンツ（終止形）	事前学習	課題曲を弾けるようにしておくこと。
		事後学習	課題曲の練習に取り組むこと。また、楽典⑥の復習をし、練習問題に取り組むこと。
第8回	ピアノ弾き歌い課題曲の発表① コードネームの総復習	事前学習	課題曲を発表できるよう準備しておくこと。
		事後学習	理論を実践に結び付けられるように、ここまですた理論についてしっかり復習し理解しておくこと。
第9回	環境構成や「適切な援助」について	事前学習	「こどもと音楽」で学習した内容について、復習しておくこと。
		事後学習	参考文献などを熟読し、レポート課題に取り組むこと。
第10回	ピアノ弾き歌いレッスン⑦ コード伴奏の実践（伴奏パターンについて）	事前学習	課題曲を弾けるようにしておくこと。
		事後学習	様々な伴奏パターンを弾けるようにしておくこと。
第11回	ピアノ弾き歌いレッスン⑧ コード伴奏の実践（ハ長調の曲）	事前学習	課題曲を弾けるようにしておくこと。
		事後学習	課題曲の練習に取り組むこと。また、ハ長調の曲をコード伴奏できるようにすること。
第12回	ピアノ弾き歌いレッスン⑨ コード伴奏の実践（ヘ長調の曲）	事前学習	課題曲を弾けるようにしておくこと。
		事後学習	課題曲の練習に取り組むこと。また、ヘ長調の曲をコード伴奏できるようにすること。
第13回	ピアノ弾き歌いレッスン⑩ コード伴奏の実践（ト長調の曲）	事前学習	課題曲を弾けるようにしておくこと。
		事後学習	課題曲の練習に取り組むこと。また、ト長調の曲をコード伴奏できるようにすること。
第14回	ピアノ弾き歌いレッスン⑪ コード伴奏の実践（ニ長調の曲）	事前学習	課題曲を弾けるようにしておくこと。
		事後学習	課題曲の練習に取り組むこと。また、ニ長調の曲をコード伴奏できるようにすること。
第15回	ピアノ弾き歌い課題曲の発表② 保育実習対応	事前学習	課題曲を発表できるよう準備しておくこと。
		事後学習	この科目を通して学んだことを復習しておくこと。